

台風の影響から診断直後のヘリ搬送が困難であった
Stanford A 型血栓閉塞型大動脈解離の一症例

中部徳洲会病院
初期臨床研修医 2 年次 上門 あきの

【はじめに】

離島では、島内で診断がついても、医療資源の限界などから、加療が困難であり、本島などへの救急搬送が必要な症例が度々認められる。

そのような症例は、沖縄県に緊急搬送要請を行えば、自衛隊などの協力のもと、速やかに搬送することが可能である。

しかし、航空機での搬送は天候に左右され、早急に搬送が必要な症例と診断されても困難な場合もある。

今回、緊急ヘリ搬送に際し、台風の影響のため、診断直後の搬送を行えず、翌日に搬送せざるを得なかった Stanford A 型血栓閉塞性大動脈解離の一症例を経験したので報告する